

※この説明書は、必ず保管してください。

# 取付・取扱説明書

## 郵便受箱/錠前

### シリンダー錠



このたびは、シリンダー錠(タジマメールボックス 専用錠前)をお買いあげいただきありがとうございました。ご使用前にこの説明書をお読みいただきシリンダー錠の機能をご理解のうえ、末永くご愛用ください。お読みになったあとは必ず保管してください。

#### ●安全にお使いいただくために

この取扱説明書では、お客さまに特に注意していただきたい事項には、右記のようなマークと見出しをつけています。この説明書の中で、これらのマークと見出しがありましたら、記載内容をお読みのうえ十分注意してください。



注意

取扱いを誤った場合に、軽傷を負うか、または物的損害の可能性のあることを示しています。

#### ●製品に関する修理・取扱方法等のご相談窓口

※お問い合わせの際はご使用の製品名をご確認の上、ご連絡ください。／製品名：シリンダー錠

サービスセンター フリーダイヤル 0120-090-630 受付時間/平日 9:00~12:00 13:00~17:00 (土・日・祝祭日は休ませて頂きます)

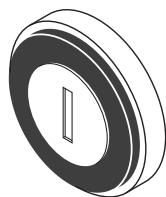
#### ■郵便受箱/錠前 保証書

1. 保証期間 納品日から2年間（納品書は大切に保管してください）
2. 保証規定 保証期間内に製造上に起因する故障が本製品に生じた場合、無償で修理致します。

本製品は郵便受箱(タジマメールボックス)の純正部品です。当社の郵便受箱以外で使用された場合、当社はその責任を負わないものとします。

- (1) 取り扱い上の不注意や誤ったご使用方法、適切な維持管理をして頂けなかったことによる故障、及び損傷。
- (2) 取付説明書に基づかない施工、専門業者以外による移動・分解などに起因する不具合。
- (3) 建築躯体の変形など本製品以外の不具合に起因する故障、及び損傷。
- (4) 塗装の色あせなどの経年変化、または使用に伴う摩耗などにより生じる外観上の現象。
- (5) 海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境に起因する不具合。
- (6) ねずみ、昆虫などの動物の行為に起因する不具合。
- (7) 火災・爆発などの事故、落雷・地震・噴火・水害その他天災地変または戦争・暴動などの破壊行為による故障、及び損傷。

- 保証規定は日本国内においてのみ有効です。離島及び離島に準ずる遠隔地への出張修理の場合は、出張に要する実費を申し受けることがあります。
- 本書は必ず保管してください。



## ■錠前の操作方法

### ○あける(解錠方法)

1. キーを鍵穴に差し込みます。
2. キーを右方向へ90°回転させます。
3. キーをつまんで扉を引き開けます。

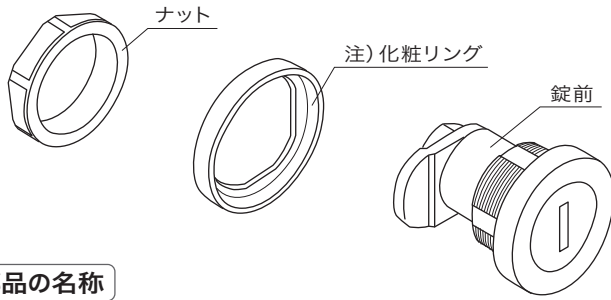
### ○しめる(施錠方法)

1. キーをつまんで扉を閉めます。
2. キーを左方向へ90°回転させます。
3. キーを抜き取ります。



注意

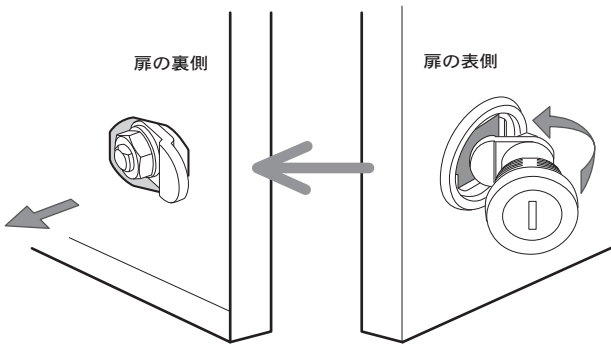
鍵穴に異物を入れたり、油を注入しますと故障の原因となりますので、絶対におやめください。  
鍵の抜き差しが悪くなった場合は、  
溶剤を含まないシリコンやカーボン滑走剤[鍵穴用]をご使用ください。



部品の名称

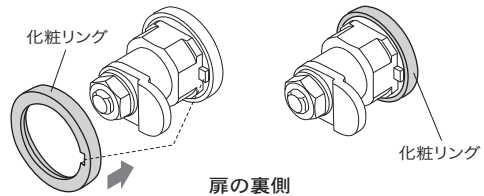
## ■取付方法

1. 扉の表側から取付穴に錠前をくぐらせそのまま差し込みます。

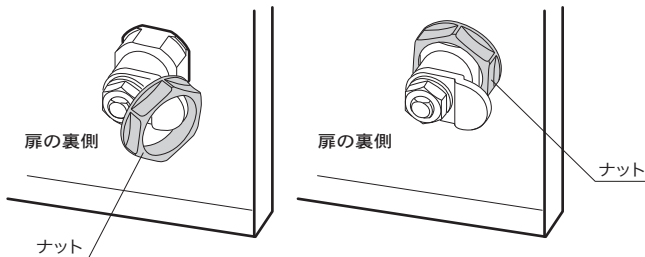


### 注) 化粧リングを取り付ける場合

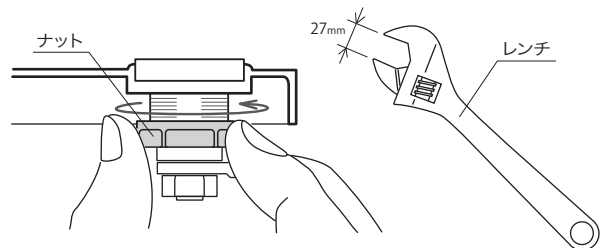
錠前を扉の取付穴に差し込む前に、くぐらせておきます。  
 ※お使いの郵便受けに化粧リングが付いていない場合、化粧リングを付ける必要はありません。



2. 錠前の後ろ側からナットをくぐらせます。



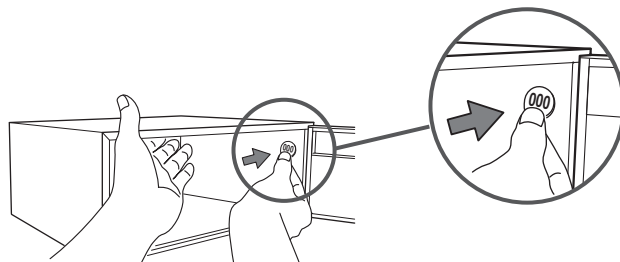
3. 錠前のネジ方向に対して水平になるように、ナットをレンチ等の工具で完全に締め込みます。



## 錠前の取り替え注意事項

### ◇ナンバーシールを貼ってください

同封の丸いナンバーシールは錠前を管理する番号です。



交換前のナンバーシールを剥がした後、本錠前のナンバーシールを必ず所定の位置(本体内部右側面)に貼ってください。

# ■各種錠前の取り外し方法

注) 2014.4 出荷分よりワッシャーは付属されておりません。  
 注) 機種によっては図の化粧リングを使用していないものがあります。

錠 前	錠 前	取り外し方
96ダイヤル錠	<p>ナット ワッシャー 注)化粧リング 錠前 ラッチ 解錠板 カバー</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. レンチ等の工具を使ってナットをゆるめます。 ※カバーがついている場合は外します。</li> <li>2. ラッチを①の方向に動かし解錠板を②の方向に押し込んでナットとワッシャーを外します。</li> <li>3. 解錠板を押し込みながら錠前を③の方向へ引き抜きます。</li> </ol> <p>ナットとワッシャーを外す方向</p>
フリーダイヤル錠 セットダイヤル錠 myナンバー錠 ラッチロック	<p>ナット ワッシャー 注)化粧リング 錠前 ラッチ カバー</p> <p>※カバー(myナンバー錠・セットダイヤル錠のみ)</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. レンチ等の工具を使ってナットをゆるめます。 ※カバーがついている場合は外します。</li> <li>2. ナットとワッシャーを外します。</li> <li>3. 錠前を扉の表側から引き抜きます。</li> </ol> <p>ワッシャー 27mm レンチ ナット</p> <p>◇ラッチがおき上がった状態で取り外すことはできません。その場合は、指でラッチを戻してください。動かない場合は、その状態で解錠操作をおこない、それからラッチを押し戻してください。</p> <p>ラッチがおき上がっている状態      ラッチが戻っている状態</p>
デジタル錠 オートデジタル錠	<p>ナット ワッシャー 注)化粧リング 錠前 ラッチ リング ボタン</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.  レンチ等の工具を使ってナットをゆるめ、ネジ部分から外します。</li> <li>2.  解錠ボタンを押してリングを回します ※リングを回したままの状態が解錠状態です。</li> <li>3.  後ろに持ち上げる      ナットとワッシャーを外す方向 ※解錠状態(リングを回した状態)のまま作業を行います。 ラッチを後ろへ持ち上げて、ナットとワッシャーを引き抜きます。</li> <li>4.  錠前本体は、扉の表側から引き抜きます。 ※解錠状態(リングを回した状態)のまま作業を行います。</li> </ol>
シリンダー錠	<p>ナット ワッシャー 注)化粧リング 錠前</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. レンチ等の工具を使ってナットをゆるめます。</li> <li>2. ナットとワッシャーを外します。</li> <li>3. 錠前を扉の表側から引き抜きます。</li> </ol> <p>ワッシャー ナット 扉の裏側</p> <p>扉の裏側      扉の表側</p>

※詳しくは弊社ホームページをご覧ください。 <http://www.metalwork.co.jp>  
 ホームページでは動画もご覧いただけます。